



## 一般社団法人 日本土壤肥料学会 2018 年度（第 41 回）通常総会

[2018 年 5 月 12 日（土）13 時 00 分～14 時 10 分 東京大学弥生講堂]

### 次 第

開会

会長挨拶

議長選出

議 事

第 1 号議案 2017 年度事業報告、事業報告の附属明細書、収支決算報告、公益目的支出計画実施報告および監査報告

第 2 号議案 2018 年度事業計画案および収支予算案

第 3 号議案 会費等の改定

第 4 号議案 総会議事録署名人の選任

その他 2018 年度年次大会（神奈川）の開催について

閉 会

# 一般社団法人 日本土壤肥料学会 2018 年度通常総会

## 議 事

### 第 1 号議案 2017 年度事業報告、事業報告の附属明細書、収支決算報告、公益目的支出計画実施報告および監査報告

#### I. 2017 (平成 29) 年度事業報告 (平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

##### 1. 定期刊行物および資料の刊行

###### (1) 定期刊行物

- 1) 日本土壤肥料学雑誌 (会誌) は、第 88 巻第 2 号～6 号、第 89 巻第 1 号の計 6 冊を刊行した。掲載した論文数等は次のとおりである。報文 18 編、ノート 12 編、技術レポート 10 編、講座 11 編、解説 3 編、総説 3 編、資料・国内外情報 26 編、学会賞受賞論文要旨 3 編、技術賞受賞論文要旨 2 編、奨励賞受賞論文要旨 4 編、技術奨励賞受賞論文要旨 2 編、ニュース (地域の動きを含む)、書評、欧文誌 Vol.63 掲載論文要旨、合計 590 頁、ほかに第 88 巻総目次、キーワード索引、著者名索引、会員消息、会誌投稿規程、原稿執筆規程、編集委員会だより、学会だより (土壤教育活動だよりを含む) 等。
- 2) Soil Science and Plant Nutrition (欧文誌) は、Vol.63, No.2～No.6 および Vol.64, No.1 の計 6 冊を刊行した。掲載した論文数等は、報文 65 編、総説 5 編、会誌報文抄録等、合計 679 頁となった。欧文誌の配布数は、名誉会員 9、正会員 308 (うち海外 20)、学生会員 66 (うち留学生 62)、国内寄贈・交換 5、海外寄贈・交換 16 等であった。
- 3) 日本土壤肥料学会講演要旨集 (第 63 集、307 頁) を 2017 年度仙台大会に際して刊行した。

###### (2) その他の刊行物

日本土壤肥料学会の編集により、来年度中に Springer 社から The Soil of Japan を刊行することとなり、執筆中である。日本の土壤の生成因子、分類、分布、特徴とともに、北海道、東北、関東・甲信越、東海・北陸、近畿・中国・四国、九州・沖縄における「土壤と農業・環境」を 6 支部が紹介する。

##### 2. 講演会および研究会等の開催

###### (1) 「土と肥料」の講演会

2017 年 4 月 16 日、通常総会終了後に、東京大学山上会館において「土と肥料」の講演会を開催した。テーマは「肥料技術の来た道行く道」、講演者と演題は小林新氏「肥料技術の現在・過去・未来」であった。講演要旨と講演スライドは学会ホームページに掲載し、会誌第 89 巻 2 号に掲載の予定である。なお、本講演会は日本学術会議の後援を受けて実施した。

###### (2) 2017 年度年次大会等

- 1) 2017年9月5日(火)～7日(木)、東北大学青葉山新キャンパスにおいて年次大会を開催した。口頭発表題数は304題、ポスター発表題数は221題、合計525題であった。大会への参加者数は830名であった。
- 2) シンポジウムは、公募による8つのテーマのシンポジウムを実施した。
  - 1,8 部門：物質動態広域評価研究の最前線
  - 1,8 部門：食料生産～消費過程における窒素利用効率と環境への窒素負荷－消費者影響の重要性と活用方向－
  - 3 部門：微生物の力をどう利用するか－現場への適用を目指して－
  - 4 部門：低投入を目指した植物栄養生理
  - 4,7,9 部門：肥料・ミネラルと人の健康
  - 7 部門：肥培管理のためのセンシングや ICT 利用の研究の現状とその実用場面
  - 9 部門：平成 28 年熊本地震が農地・作物に及ぼした影響－今後も起こりうる地震被害に対する土壌肥料分野の貢献－
  - 9 部門：賢者が語る土壌の心髄
- 3) ミニシンポジウムは、以下に示すテーマについて実施した。
  - 5 部門：日本土壌分類体系の概要
- 4) 東北大学百周年記念会館(川内萩ホール)において、以下の講演が行われた(9/6)。
 

第 62 回日本土壌肥料学会賞受賞者

  - ・石川 覚：イネのカドミウム吸収機構の解明とカドミウムを吸収しない水稻品種「コシヒカリ環 1 号」の開発
  - ・久保寺秀夫：九州沖縄地域の各種土壌が有する問題点の解析と管理指針の提示
  - ・山本洋子：植物細胞におけるアルミニウム障害ならびに耐性機構に関する研究

第 22 回日本土壌肥料学会技術賞受賞者

  - ・原 正之：家畜ふん堆肥の成型技術に関する研究
  - ・藤井弘志：気象変動条件下における水稻の生産性向上のための窒素とケイ酸の肥培管理技術の開発

特別講演：Flavio A. O. Camargo (リオグランデ・ド・スル連邦大学教授)

Soil science : beyond food and fuel – Brazilian agriculture in perspective  
土壌科学：食料と燃料の生産を超えて－ブラジル農業の展望
- 5) 第35回日本土壌肥料学会奨励賞(阿部 進、上野大勢、杉原 創、和田慎也)及び第6回日本土壌肥料学会技術奨励賞受賞者(岩佐博邦、丹羽勝久)の記念講演については、仙台大会一般講演会場で行われた。
- 6) 日本土壌肥料学雑誌論文賞受賞者(森次真一、石橋英二、山本章吾、沖 和生、板橋 直)及び SSPN Award 受賞者(Atfritedy Limin, Mariko Shimizu, Masayoshi Mano, Keisuke Ono, Akira Miyata, Hideo Wada, Haruhiko Nozaki, Ryusuke Hatano)については、仙台大会ポスター会場に受賞記念ポスターを展示した。
- (3) 2017 年度支部大会
  - ・北海道支部：秋季支部大会(11/30 於かでる 2・7 展示ホール 札幌市)が開催された。講演題数はポスター発表 35 題であった。
  - ・東北支部：支部大会(7/11～12 於アイーナ 盛岡市)が開催された。講演題数は

口頭発表 8 題、ポスター発表 11 題、合計 19 題であった。

- ・関東支部：支部大会（11/25 於日本大学生物資源科学部 藤沢市）が開催された。講演題数はポスター発表 49 題であり、高校生ポスター発表が 7 題あった。
- ・中部支部：第 96 回支部例会（3/2 於愛知県産業労働センター ウィンクあいち 名古屋市）および第 97 回支部例会（10/26 於富山県民共生センターサンフォルテ 富山市）が開催された。講演題数は、第 96 回支部例会では口頭発表 15 題、ポスター発表 13 題、第 97 回支部例会では口頭発表 7 題、ポスター発表 8 題であった。
- ・関西支部：支部大会（12/7 於樫原観光ホテル 奈良市）が開催された。講演題数は口頭発表 43 題、参加者は 80 名であった。
- ・九州支部：支部例会（9/21～22 於佐賀大学理工学部 佐賀市）が開催された。講演題数は口頭発表 32 題であった。

#### (4) その他

- ・日本地球惑星科学連合 2017 年度連合大会（5/21～25 幕張メッセ）のセッション「Biodiversity, nutrients and other materials in ecosystems from headwaters to coasts」を協賛した。
- ・第 30 回環境工学連合講演会（5/23 日本学術会議講堂）を共催した。
- ・第 54 回アイソトープ・放射線研究発表会（7/5～7 東京大学弥生講堂）を共催した。
- ・第 27 回環境工学総合シンポジウム（7/10～12 アクトシティ浜松）を協賛した。
- ・日本学術会議農学委員会農学分科会 公開シンポジウム「魅力ある生産農学教育を目指して」（9/8 日本学術会議講堂）を共催した。
- ・残留性有害物質に関する国際会議 ISPTS2017（9/24～28 名古屋大学東山キャンパス）を後援した。
- ・第 61 回粘土科学討論会（9/25～27 富山大学）を共催した。
- ・エコプロダクツ 2017（12/7～9 東京ビッグサイト）に出展した。
- ・第 33 回近赤外フォーラム（11/15～17 筑波大学国際会議場）を後援した。
- ・日本腐植物質学会第 33 回講演会（11/16～17 山口大学吉田キャンパス）を協賛した。
- ・環境研究総合推進費[2-1601]国民対話シンポジウム「地球温暖化対策の手段としての森林・農業－土壌の役割を中心として」（11/21）を後援した。
- ・平成 29 年度農研機構シンポジウム「放射性セシウム吸収抑制対策の今後を考える」（12/4 コラッセふくしま多目的ホール）を後援した。

### 3. 研究の奨励および研究業績の表彰

学会賞等選考委員会（10/20）、論文賞等選考委員会（10/20）および第 5 回理事会（10/21）において、日本農学賞の候補者、日本土壌肥料学会賞、同技術賞、同奨励賞、同技術奨励賞、論文賞および SSPN Award の受賞者が以下のとおり選定された。

第 63 回 日本土壌肥料学会賞

- ・石黒宗秀：土壌中における水・溶質移動と界面電気現象に関する研究

- ・信濃卓郎：作物生産向上のための根圏環境制御に関する植物栄養学的研究
  - ・白戸康人：土壌炭素動態モデルを活用した農地土壌への炭素貯留の評価
- 第 23 回 日本土壌肥料学会技術賞
- ・伊藤豊彰：有機性資源の新しい活用法等を基盤とする環境保全的肥培管理技術に関する研究
  - ・清水 武：作物の養分ストレスに関する研究
- 第 36 回 日本土壌肥料学会奨励賞
- ・大森良弘：フィールドにおけるイネの生育と元素蓄積に関する研究
  - ・清水真理子：草地における炭素・窒素循環計測に基づく温室効果ガス排出に対する施肥管理の影響評価
- 第 7 回 日本土壌肥料学会技術奨励賞
- ・東 英男：安全・高品質米の安定生産に向けた窒素肥沃度管理とカドミウムリスク低減技術の開発
  - ・鎌田 淳：集約的露地野菜及び米・麦二毛作地帯における施肥改善並びに農作物の安全性確保に関する研究
  - ・松本武彦：大規模草地における乳牛ふん尿処理物の肥効評価に基づく環境保全的施肥法に関する研究
- 日本土壌肥料学雑誌論文賞受賞者
- ・八木哲生、松本武彦、大友 量、小林創平、三枝俊哉、岡 紀邦：根釦地域の飼料用トウモロコシに対するアーバスキュラー菌根菌の効果を考慮したリン酸施肥基準
  - ・松本成夫、織田健次郎、三輪睿太郎：わが国の食飼料供給に伴う 1992 年から 2007 年までの窒素フローの変遷
- SSPN AWARD 受賞者
- ・ Junta Yanai, Hiroshi Taniguchi and Atsushi Nakao : Evaluation of available silicon content and its determining factors of agricultural soils in Japan

#### 4. 内外の研究者、技術者、他学会等との連絡および協力

##### (1) 日本農学会関係

- ・平成 29 年度日本農学会シンポジウム「大変動時代の食と農（10/14）」に協力した。当学会からは、八木一行氏が講演「地球環境と食料・農業に関する国際的な科学と社会のコミュニケーション」を行った。

##### (2) 日本学術会議関係

- ・日本学術会議IUSS分科会より連絡を受け、IUSS次期役員選挙に協力して実施した（投票期間 10/1～11/20）。

##### (3) IUSS、ESAFS 等国际活動関係

- ・IUSS の国際土壌 10 年の関連事業としてわが国土壌学の先達(IUSS 名誉会員 久馬一剛氏、熊澤喜久雄氏、和田光史氏) に対するインタビューを実施した。
- ・エチオピア土壌学会（3 月 エチオピア・アジスアベバ）に代表者を派遣した。
- ・ヨーロッパ地球科学連合大会（EGU：4/23-28、ウィーン）に代表者を派遣した。

- ・国際都市土壌会議（5/22～26 ロシア・モスクワ）に代表者を派遣した。
  - ・Global Soil Partnership 総会（6/20～22 イタリア・ローマ）に代表者を派遣した。
  - ・ICOBTE（7/16～20 スイス・チューリッヒ）に代表者を派遣した。
  - ・仙台大会に Prof. Dr. Flavio A. O. Camargo 氏（IUSS 副会長）を招聘した（9/6）。
  - ・ICSU（International Council for Science）総会（10/19～27 台湾・台北）に代表者を派遣した。
  - ・ESAFS（12/12～15 タイ・パタヤ）に代表者を派遣した。
- (4) 科学技術振興機構（JST）関係
- ・JST 研究開発戦略センターより、平成 29 年度 JST 俯瞰ワークショップフューチャングリーン～持続可能な農林地利活用を目指して～への研究提案依頼を受け、当学会から 1 および 8 部門長を中心に検討し、「2050 年の日本の農業流域の最適管理手法」を提案した。
- (5) 定期刊行物の寄贈・交換
- 内外の研究機関に対して定期刊行物を寄贈・交換した。
- ・日本土壌肥料学雑誌 国内 10、国外 14
  - ・Soil Science and Plant Nutrition 国内 5、国外 16
- (6) その他
- ・第 16 回日本農学進歩賞を南川和則会員と多胡香奈子会員（農研機構農業環境変動研究センター）が受賞した（11/24）。
  - ・志賀弘行会員（北海道立総合研究機構中央農業試験場）と八槇 敦会員（千葉県農林総合研究センター）が平成 29 年度農業技術功労者表彰を受けた（12/8）。

## 5. 本学会の委員会等活動

### (1) 企画委員会

- ・「土と肥料」の講演会を企画し、日本学術会議の後援を受け、東京大学山上会館において開催した(4/16)。
- ・企画委員会を中心とし、広報、渉外、教育、部門長会議等の担当理事で「国際土壌の 10 年」対応準備委員会を組織し、関連事業を企画・実施した。仙台大会において「国際土壌の 10 年」のステッカーを作成し配布するとともに、取組計画状況を紹介した。支部に対して「世界土壌デー」前後に一般向けイベントの開催を呼びかけた。また、世界土壌デー（12/5）の直後に行われたエコプロダクツ 2017（12/7～9 東京ビッグサイト）において、日本ペドロロジー学会とともに土壌モノリス、パネル等を展示し、国際土壌の 10 年について紹介した。

### (2) 土壌教育委員会

- ・小学校学習指導要領（2017 年 3 月公示）における理科 [第 4 学年] の内容への「土の粒」の追加に関して会長コメントを学会 HP に掲載するとともに、2015 年 1 月に文部科学省に提出した学習指導要領に関する要望書に賛同いただいた関連学会に報告を兼ねた礼状を送付した（2017 年 6 月）。また、「土の粒」に関連する教材開発作業部会を開催し(6/14、7/18、10/12、12/14)、新学習指導要領の該当部分に対する指導案「地面をつくる土の粒と雨水の行方」を作成・公

表し、同指導致を会長名で、全国都道府県および政令指定都市の教育委員会（67機関）、教科書発行者（42社）および関連学会（19学会）に送付し、参考資料として活用いただくよう依頼した（2018年1月）。

- ・仙台大会において「高校生ポスター発表会」を大会初日の16:00～18:00に開催し（9/5）、15校21課題の発表が行われた。発表会終了後に表彰式を行い、最優秀ポスター賞1課題および優秀ポスター賞3課題に賞状と副賞を授与した。また、参加校のうち希望校7校に宿泊費の一部を補助した。
- ・北オホーツク道立自然公園内ベニヤ原生花園前に野外観察板（北海道天北地方に分布する砂丘ポドゾル）を設置し、北海道枝幸郡浜頓別町に寄贈した（10/19）。
- ・関東支部大会（日本大学生物資源科学部）における高校生ポスター発表会をサポートした（11/25）。高校生ポスター発表会には7課題（5校）の参加があり、最優秀賞1課題および優秀賞2課題が表彰された。

### (3) 広報委員会

- ・学会HPのお知らせ欄を改定して「主催講演会等の資料」の頁を作成し、「土と肥料」の講演会概要等の記事を掲載した。
- ・学会HPに2017年度日本土壌肥料学会賞等授賞式・記念講演会の概要を掲載した。
- ・学会HPに掲載した記事をフェイスブックにも掲載した。
- ・「エコプロダクツ2017」（12/7～9東京ビッグサイト）に日本ペドロロジー学会とともにブースを出展した。

### (4) 財政基盤整備委員会

- ・財政基盤整備委員会において、学会の会員数、収支決算、正味財産額等の推移を解析し、収入の拡大、支出の削減、事業活動を確保するために配慮すべき事項等について検討した。
- ・財政基盤整備委員会に会長、副会長を加えた拡大財政基盤整備委員会を組織し、会費等の改定について検討した。

### (5) その他

- ・男女共同参画学協会にオブザーバー参加、連絡会や学協会が企画する大規模アンケートや未来の女性科学者を育てるための体験型サイエンスプログラムに参加した。

## 6. 会務報告

### (1) 会員の動向

1) 2018年2月末における会員数は次のとおりである。

正会員 1,842名（うち会費免除会員 88名、外国正会員 36名）、賛助会員 37団体、名誉会員 12名、学生会員 354名（うち留学生 77名）、国内団体購読会員 101団体 合計 2,346名（団体）

2) 2017年度中の入退会者数は次のとおりである。

入会：正会員 99名（うち海外正会員 3名）、学生会員 144名（うち留学生 26名） 合計 243名

退会：正会員 142名（うち会費免除会員 9名、海外正会員 2名）、学生会員 151

名（うち留学生 17 名）、賛助会員 3 団体、国内団体購読会員 6 団体 合計 302 名（団体）

## (2) 会議

- 1) 総会：2017 年 4 月 16 日、東京大学山上会館において第 40 回通常総会が開催された。本総会においては、①2016 年度事業報告、事業報告の附属明細書、収支決算報告、公益目的支出計画実施報告および監査報告、②2017 年度事業計画案および収支予算案、③役員の新任・退任、④名誉会員の推薦、⑤総会議事録署名人の選任について審議され、各議案とも、原案どおり承認された。その議事録を会誌 88 巻第 3 号に掲載した。
- 2) 理事会：東京大学山上会館において 1 回、学会事務所において 7 回開催され、所要の事項・会務を報告・審議した。その議事録を会誌のニュース欄に掲載した。主要な議題としては、①理事会の代表理事の選定及びその他役職・担当の決定、②平成 30 年度日本農学会シンポジウムのテーマ案、③仙台大会での学会賞等授賞式並びに記念講演のタイムスケジュールおよびシンポジウムの構成、④会誌投稿規程・執筆規程の改定、⑤会誌における SSPN 掲載論文紹介の企画、⑥欧文誌編集委員の交代、⑦部門長の交代、⑧論文賞及び SSPN Award 選考内規の一部改訂、⑨国際活動関連の諸案件、⑩国際土壌の 10 年に関する取組み、⑪部門長会議提案による欧文誌レビュー案、⑫若手会員海外渡航費の支援、⑬日本農芸化学会との共催シンポジウム、⑭2017 年度学会賞等及び論文賞等の選考結果の承認、⑮2018 神奈川大会の予算案、⑯2019 年度年次大会の開催場所・日時・組織体制、⑰旅費交通費支給に関する内規の一部改訂、⑱若手会員支援（海外渡航費支援）に関する内規の一部改訂、⑲共催・後援・協賛等の申請、⑳細則 23 条による会費免除の申請、入退会者の承認等について審議した。
- 3) 部門長会議：①第 1 回部門長会議はメール会議で実施した（4/11～4/20）。仙台大会におけるシンポジウムの公募に対して 8 件の応募があり、いずれも採択されたが、数が多いことから運営本部の負担増、口頭発表への影響が危惧された。事後評価を行い、今後はシンポジウム数上限の検討も必要と考えられた。また、テーマ別進歩総説について、第 6 部門より企画案の提出・編集等への協力依頼がなされた。②第 2 回部門長会議（6/11）においては、仙台大会のプログラム編成、シンポジウム企画案、ポスター賞の各部門への割当数及び審査スケジュール、部門長・副部門長の交代、欧文誌レビュー等について検討した。③第 3 回部門長会議（11/19）においては、2017 年度仙台大会の結果概要、2018 年度神奈川大会の準備状況について報告された。また、神奈川大会における第 9 部門の重複発表の扱い、シンポジウムの採択方法、日本農芸化学会との共催シンポジウム、口頭発表での発表スライドの形式等について審議した。
- 4) 2017 年度学会賞等選考委員会：学会事務所において、会長を議長として開催し、平成 30 年度日本農学賞候補者、第 63 回日本土壌肥料学会賞、第 23 回同技術賞、第 36 回同奨励賞、第 7 回同技術奨励賞および第 7 回同貢献賞の受賞者を選考した（10/20）。その結果は第 5 回理事会（10/21）での承認を経て、会誌 88 巻第 6 号に掲載した。また、同日午前、学会事務所において、論文賞等選考委員会を開催し、日本土壌肥料学雑誌論文賞受賞論文と、SSPN Award 受賞論文を選考した。その結

果も第5回理事会での承認を経て、会誌88巻第6号に掲載した。

- 5) 会誌編集関係：常任編集委員会を2回、地域担当編集委員との合同編集委員会を1回開催した。①投稿状況については、この2～3年の間、報文・ノートの投稿数が少なく推移してきたが、多少回復の兆しが見える。②日本土壌肥科学雑誌は第88巻1号(2017)まで、日本土壌肥科学会講演要旨集は第62集(佐賀大会2016)までJ-STAGEに公開した。今後、日本土壌肥科学雑誌は発刊から1年後、講演要旨集については大会終了後できるだけ速やかに公開の予定である。③オンライン投稿・査読システムを導入し、それに伴い投稿規程・執筆規程を改訂した。
- 6) 欧文誌編集関係：①SSPN投稿・編集状況が報告された。2017年の投稿数は昨年、一昨年より多く、ほぼ回復している。②部門長会議提案の欧文誌レビュー5件の企画が進められている。③SSPN特集については、Rice GHG (Frontline research in mitigating greenhouse gas emissions from paddy fields)が64巻1号に掲載され、他に2件の企画が進められている。④ジャーナルの評価については、インパクトファクターだけでなくオルトメトリックスやORCID (Open Researcher and Contributor ID)への対応も検討する必要がある。

#### 7) 支部における会議

北海道支部：第1回支部評議員会(6/7 於北海道大学エンレイソウ 札幌市)、第2回支部評議員会および支部総会(11/30 於かでの2・7 札幌市)が開催された。

東北支部：支部総会(7/11 於アイーナ 盛岡市)が開催された。

関東支部：支部幹事会および支部総会(11/25 於日本大学生物資源科学部 藤沢市)が開催された。

中部支部：159回支部評議員会および77回支部総会(3/2 於愛知県産業労働センター ウィンクあいち 名古屋市)が開催された。160回支部評議員会(5/24 於名古屋国際センター 名古屋市)が開催された。161回支部評議員会および78回支部総会(10/26 於富山県民共生センター「サンフォルテ」 富山市)が開催された。

関西支部：支部役員会(12/9 於橿原観光ホテル 奈良市)が開催された。

九州支部：支部常議員会、支部賞選考委員会(9/21 於佐賀大学理工学部 佐賀市)および支部総会(9/22 於同会場)が開催された。

#### (3) その他

- ・若手会員の海外学会等の参加渡航費補助金支給者の選考を行い、前期5名、後期6名に渡航費の一部支援を行った。
- ・2019年度年次大会は森田明雄氏(静岡大)を大会運営委員長とし、2019年9月3日(月)～5日(水)、静岡大学(静岡キャンパス)において開催することを決定した。

## Ⅱ. 2017（平成29）年度事業報告の附属明細書

事業報告の附属明細書として記載すべき事項はない。

### Ⅲ. 2017（平成29）年度収支決算報告書

#### 一般正味財産増減の部

##### 1. 経常収益

予算額より159万円増の5,102万円であった。

##### (1) 予算額に対して増加割合の大きな科目

- ④受取会費／学生会員受取会費（予算額より26万円増）
- ⑤事業収益／会誌投稿料・別刷り代等（同20万円増）
- 同／欧文誌委託販売（同30万円増）
- 同／支部大会収入（同27万円増）
- ⑩雑収入／雑収益（同26万円増）
- 同／支部雑収入（同105万円増）

##### (2) 予算額に対して減少割合の大きな科目

- ④受取会費／欧文誌購読会員受取会費（予算額より31万円減）
- ⑤事業収益／会誌刊行等事業収益／欧文誌投稿料・別刷代等（同39万円減）

##### 2. 経常費用

予算額より252万円減の5,477万円であった。

##### (1) 予算額に対して増加割合の大きな支出科目

- ①事業費／会誌刊行費／編集費（予算額より350万円増）
- 同／支部大会開催費（同88万円増）

##### (2) 予算額に対して減少割合の大きな科目

- ①事業費／会誌刊行費／印刷製本費（予算額より247万円減）
- 同／各種委員会等運営費（同91万円減）
- 同／国際交流費（同61万円減）
- 同／国際土壤年事業費（同32万円減）
- ②管理費／給料手当（同22万円減）
- 同／旅費交通費（同29万円減）
- 同／租税公課（同73万円減）

この結果、当期経常増減額は、-375万円であった。

各事業の実施および管理費支出において、いっそうの節制が図られたため、予

算作成時に想定した赤字額(786万円)は大幅に縮小された。

### 3. 経常外増減の部

なし

以上の結果、当期一般正味財産増減額は、－375万円であった。

一般正味財産期首残高は1億4,624万円だったので、同期末残高は1億4,249万円となった。

### 指定正味財産増減の部

なし

以上の結果から、正味財産期末残高は1億4,249万円となった。

予算対比正味財産増減計算書【管理費配賦前】  
2017(平29)年3月1日から2018(平30)年2月28日まで

1/2

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,500	420	1,080	
基本財産受取利息	(1,500)	(420)	1,080	
② 特定資産運用益	18,000	5,369	12,631	
特定資産受取利息	(18,000)	(5,369)	12,631	
③ 受取入会金	510,000	609,000	△ 99,000	
受取入会金	(510,000)	(609,000)	△ 99,000	3,000円×203人
④ 受取会費	25,180,000	24,956,000	224,000	
正会員受取会費	(17,000,000)	(16,890,000)	110,000	10,000円×1689人
学生会員受取会費	(1,680,000)	(1,938,000)	△ 258,000	6,000円×646人
団体会員受取会費	(2,100,000)	(2,040,000)	60,000	20,000円×100団体、40,000円×1団体
欧文誌購読会費受取会費	(2,100,000)	(1,788,000)	312,000	6,000円×298人
賛助会員受取会費	(2,300,000)	(2,300,000)	0	50,000円×46口
⑤ 事業収益	23,388,500	23,830,249	△ 441,749	
会誌刊行等事業収益	(11,420,000)	(11,495,371)	△ 75,371	
会誌委託販売	(1,200,000)	(1,049,760)	150,240	
会誌投稿料・別刷り代等	(2,700,000)	(2,903,304)	△ 203,304	88(2)～89(1)
会誌バックナンバー等	(10,000)	(0)	10,000	
欧文誌委託販売	(3,500,000)	(3,797,166)	△ 297,166	Talor & Francis
欧文誌投稿料・別刷代等	(3,960,000)	(3,571,036)	388,964	63(2)～64(1)
講演要旨集(大会時外)	(0)	(75,200)	△ 75,200	バックナンバー等
出版物印税	(50,000)	(98,905)	△ 48,905	博友社印税
大会収入	(10,598,500)	(10,691,009)	△ 92,509	仙台大会運営委予算案に基づく
参加料	(3,275,000)	(3,365,000)	△ 90,000	826名
発表料	(550,000)	(530,000)	20,000	1,000円×530題
講演要旨集(大会時)	(2,600,000)	(2,548,000)	52,000	4,000円×637部
懇親会費	(2,260,000)	(2,241,000)	19,000	339名
雑収入	(1,913,500)	(2,007,009)	△ 93,509	寄付金他
広告料収入	(770,000)	(777,600)	△ 7,600	
支部大会収入	(600,000)	(866,269)	△ 266,269	支部大会
⑥ 受取補助金等	110,000	0	110,000	
受取補助金	(110,000)	(0)	110,000	
⑦ 受取助成金	0	0	0	
⑧ 受取寄付金	0	111,820	△ 111,820	
受取寄付金	(0)	(111,820)	△ 111,820	Talor & Francis SSPN Award
⑨ 受託収入	0	0	0	
⑩ 雑収入	220,000	1,507,462	△ 1,287,462	
受取利息	(20,000)	(4,726)	15,274	
雑収益	(200,000)	(455,702)	△ 255,702	情報システム研究機構、学術著作権協会他
支部雑収入	(0)	(1,047,034)	△ 1,047,034	
経常収益計	49,428,000	51,020,320	△ 1,592,320	
(2) 経常費用				
① 事業費	35,540,480	35,032,434	508,046	
年次大会開催費	(10,548,490)	(10,514,132)	34,358	
会場費	(464,310)	(253,983)	210,327	
人件費	(720,000)	(897,830)	△ 177,830	学生アルバイト
運営費	(590,000)	(470,848)	119,152	機材、運営諸費用
年次大会管理費	(2,501,928)	(2,727,660)	△ 225,732	運営業務委託費等
大会関係印刷費	(2,974,752)	(3,124,392)	△ 149,640	講演要旨集印刷代
懇親会費	(2,700,000)	(2,881,694)	△ 181,694	
その他雑費	(597,500)	(157,725)	439,775	
会誌刊行費	(10,863,610)	(11,946,683)	△ 1,083,073	88(2)～89(1)
印刷製本費	(8,642,410)	(6,172,024)	2,470,386	
通信運搬費	(1,471,200)	(1,527,303)	△ 56,103	
編集費	(750,000)	(4,247,356)	△ 3,497,356	
欧文誌刊行費	(5,624,500)	(5,348,820)	275,680	63(2)～64(1)
印刷製本費	(4,224,500)	(4,094,491)	130,009	
編集費	(1,400,000)	(1,254,329)	145,671	
各種委員会等運営費	(1,652,280)	(744,573)	907,707	土壌教育委員会他
土壌教育委員会	(1,100,000)	(551,325)	548,675	
広報委員会	(552,280)	(192,584)	359,696	
その他	(0)	(664)	△ 664	

次頁に続く

科 目	予算額	決算額	増 減	備考
学術交流費	(50,000)	(0)	50,000	
国際交流費	(2,570,000)	(1,956,436)	613,564	エフピコ、イスタンブール、ローマ、ESAFS他
事業関係通信運搬費	(150,000)	(68,152)	81,848	振込手数料等
事業関係雑費	(35,000)	(49,000)	△ 14,000	仙台大会シホジウム非会員・懇親会費7名分
事業関係業務委託費	(20,000)	(0)	20,000	英文校閲業務
農学会等分担金	(270,000)	(266,850)	3,150	日本農学会分担金、日本学術協力財団等
HP管理費	(156,600)	(173,400)	△ 16,800	
顕彰費	(740,000)	(740,000)	0	学会賞他
女性・若手支援費	(1,040,000)	(845,780)	194,220	奨励賞4名、若手支援8名
国際土壌年事業費	(320,000)	(0)	320,000	
支部大会開催費	(1,500,000)	(2,378,608)	△ 878,608	
② 管理費	21,746,730	19,739,205	2,007,525	
役員報酬	(2,400,000)	(2,400,000)	0	
給料手当	(3,900,000)	(3,675,200)	224,800	
退職給付費用	(206,730)	(185,680)	21,050	退職給与引当金繰入
法定福利費	(90,000)	(34,178)	55,822	労働保険
福利厚生費	(600,000)	(585,559)	14,441	社会保険
会議費	(110,000)	(151,177)	△ 41,177	
総会	(60,000)	(68,000)	△ 8,000	
理事会	(10,000)	(9,858)	142	
部門長会	(5,000)	(2,311)	2,689	
選考委員会	(5,000)	(0)	5,000	
その他会議費	(30,000)	(71,008)	△ 41,008	支部会議費等
旅費交通費	(4,000,000)	(3,712,269)	287,731	
通信運搬費	(900,000)	(895,320)	4,680	
什器備品費	(50,000)	(0)	50,000	
消耗品費	(300,000)	(105,785)	194,215	
印刷製本費	(400,000)	(218,700)	181,300	総会資料他
事務所賃料等	(3,120,000)	(3,062,436)	57,564	事務所家賃・共益費
光熱水料費	(250,000)	(248,900)	1,100	
リース料	(400,000)	(329,205)	70,795	PC、FAX等
保険料	(50,000)	(25,520)	24,480	賃貸借年間補償委託料
租税公課	(1,000,000)	(274,750)	725,250	消費税、均等割、印紙
業務委託費	(3,870,000)	(3,696,454)	173,546	会員管理、会計業務他
雑費	(100,000)	(138,072)	△ 38,072	会計ソフトサポート他
経常費用計	57,287,210	54,771,639	2,515,571	
当期経常増減額	△ 7,859,210	△ 3,751,319	△ 4,107,891	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 7,859,210	△ 3,751,319	△ 4,107,891	
一般正味財産期首残高	146,239,866	146,239,866	0	
一般正味財産期末残高	138,380,656	142,488,547	△ 4,107,891	
II 指定正味財産増減の部				
① 受取補助金等				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	138,380,656	142,488,547	△ 4,107,891	

財 産 目 録  
2018(平30)年2月28日現在

1/2

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
<b>現金預金</b>			
現金手許有高普通預金		運転資金として	660,376
	みずほ銀行本郷支店(普)-1	運転資金として	19,505,680
	みずほ銀行(養賢堂)本郷支店(普)-2	運転資金として	14,952,585
	みずほ銀行本郷支店(普)-3	運転資金として	3,695,670
	三菱東京UFJ銀行本郷支店(普)-4	運転資金として	247,186
郵便振替貯金		運転資金として	11,619,823
支部現金預金			3,678,946
(1) 北海道支部		運転資金として	( 542,786 )
(2) 東北支部		運転資金として	( 903,571 )
(3) 関東支部		運転資金として	( 207,904 )
(4) 中部支部		運転資金として	( 600,857 )
(5) 関西支部		運転資金として	( 607,250 )
(6) 九州支部		運転資金として	( 816,578 )
現金預金合計			54,360,266
仮払金			
(1) 年次大会			0
仮払金合計			0
未収金			
(1) 会費(団体会員)		2017年度	1,880,000
(2) 会費(賛助会員)			0
(3) 会誌投稿料・別刷代		2017年度	393,840
(4) 欧文誌委託販売			0
(5) 欧文誌投稿料・別刷代		2017年度	0
(6) 広告料		2017年度	97,200
(7) 講演要旨集			0
未収金合計			2,371,040
<b>流動資産合計</b>			<b>56,731,306</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>基本財産</b>			
	みずほ銀行本郷支店(定)-1		10,000,000
基本財産合計			10,000,000
<b>特定資産</b>			
国際シンポジウム準備積立金			6,170,000
	みずほ銀行本郷通支店(定)-2		( 6,170,000 )
女性・若手会員支援事業積立金			17,700,000
	みずほ銀行本郷支店(定)-3		( 17,700,000 )
表彰事業積立金			2,000,000
	みずほ銀行本郷支店(定)-4		( 2,000,000 )
退職給付引当積立預金			1,255,680
	みずほ銀行本郷支店(定)-5		( 1,255,680 )
事務所維持等積立金			68,160,000
	三菱東京UFJ銀行(定)-6		( 68,160,000 )
特定資産合計			95,285,680
<b>その他固定資産</b>			
保証金			( 756,160 )
その他固定資産合計			756,160
<b>固定資産合計</b>			<b>106,041,840</b>
<b>資産合計</b>			<b>162,773,146</b>
<b>(流動負債)</b>			
未払金		会誌刊行費他	2,867,589
前受会費		2018年度以降分会費	13,177,000
前受金		テイラー&フランス社 ロイヤリティ2018年3月分~12月分相当分	2,920,000
預り金		源泉税・社会保険1月~2月分	64,330
<b>流動負債合計</b>			<b>19,028,919</b>
<b>(固定負債)</b>			
(1) 退職給付引当金			1,255,680
<b>負債合計</b>			<b>20,284,599</b>
<b>正味財産</b>			<b>142,488,547</b>

貸借対照表  
2018(平30)年2月28日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	54,360,266	48,810,754	5,549,512
未収金	2,371,040	2,654,991	△ 283,951
前払金	0	0	0
流動資産合計	56,731,306	51,465,745	5,265,561
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
国際シンポジウム準備積立金	6,170,000	6,170,000	0
女性・若手会員支援積立金	17,700,000	17,700,000	0
表彰事業積立金	2,000,000	2,000,000	0
退職給付引当預金	1,255,680	900,000	355,680
事務所維持等積立金	68,160,000	74,160,000	△ 6,000,000
特定資産合計	95,285,680	100,930,000	△ 5,644,320
(3) その他固定資産			
保証金	756,160	756,160	0
その他固定資産合計	756,160	756,160	0
固定資産合計	106,041,840	111,686,160	△ 5,644,320
資産合計	162,773,146	163,151,905	△ 378,759
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	2,867,589	773,593	2,093,996
前受会費	13,177,000	12,095,000	1,082,000
前受金	2,920,000	2,920,000	0
預り金	64,330	53,446	10,884
流動負債合計	19,028,919	15,842,039	3,186,880
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,255,680	1,070,000	185,680
固定負債合計	1,255,680	1,070,000	185,680
負債合計	20,284,599	16,912,039	3,372,560
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	142,488,547	146,239,866	△ 3,751,319
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(94,030,000)	(100,030,000)	(△6,000,000)
正味財産合計	142,488,547	146,239,866	△ 3,751,319
負債及び正味財産合計	162,773,146	163,151,905	△ 378,759

正味財産増減計算書

2017(平29)年3月1日から2018(平30)年2月28日まで

1/2

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	420	1,483	△ 1,063
基本財産受取利息	(420)	(1,483)	△ 1,063
② 特定資産運用益	5,369	14,968	△ 9,599
特定資産受取利息	(5,369)	(14,968)	△ 9,599
③ 受取入会金	609,000	567,000	42,000
受取入会金	(609,000)	(567,000)	42,000
④ 受取会費	24,956,000	25,696,000	△ 740,000
正会員受取会費	(16,890,000)	(17,334,000)	△ 444,000
学生会員受取会費	(1,938,000)	(1,860,000)	78,000
団体会員受取会費	(2,040,000)	(2,160,000)	△ 120,000
欧文誌購読会員受取会費	(1,788,000)	(1,842,000)	△ 54,000
賛助会員受取会費	(2,300,000)	(2,500,000)	△ 200,000
⑤ 事業収益	23,830,249	19,586,362	4,243,887
印刷物収入	(11,495,371)	(11,481,548)	13,823
大会収入	(10,691,009)	(6,740,214)	3,950,795
広告料収入	(777,600)	(777,600)	0
支部大会収入	(866,269)	(587,000)	279,269
⑥ 受取補助金等	0	0	0
⑦ 受取助成金	0	0	0
⑧ 受取寄付金	111,820	100,278	11,542
受取寄付金	(111,820)	(100,278)	11,542
受取寄附金振替額	(0)	(0)	0
⑨ 受託収益	0	0	0
⑩ 雑収入	1,507,462	912,906	594,556
受取利息	(4,726)	(270)	4,456
雑収益	(455,702)	(646,474)	△ 190,772
支部雑収入	(1,047,034)	(266,162)	780,872
経常収益計	51,020,320	46,878,997	4,141,323
(2) 経常費用			
① 事業費	46,991,580	41,661,637	5,329,943
年次大会開催費	(10,514,132)	(6,944,246)	3,569,886
会誌刊行費	(11,946,683)	(11,532,901)	413,782
欧文誌刊行費	(5,348,820)	(4,946,003)	402,817
各種委員会等運営費	(744,573)	(0)	744,573
国際交流費	(1,956,436)	(750,028)	1,206,408
事業関係通信運搬費	(68,152)	(256,964)	△ 188,812
事業関係雑費	(49,000)	(21,000)	28,000
事業関係業務委託費	(0)	(15,040)	△ 15,040
農学会等分担金	(266,850)	(269,800)	△ 2,950
HP管理費	(173,400)	(206,600)	△ 33,200
顕彰費	(740,000)	(770,000)	△ 30,000
女性・若手支援費	(845,780)	(715,460)	130,320
国際シンポジウム費	(0)	(675,000)	△ 675,000
国際土壌年事業費	(0)	(21,600)	△ 21,600
支部大会開催費	(2,378,608)	(1,294,789)	1,083,819
役員報酬	(1,680,000)	(1,680,000)	0
給料手当	(2,205,120)	(2,099,520)	105,600
臨時雇賃金	(0)	(170,000)	△ 170,000
退職給付費用	(111,408)	(102,000)	9,408
法定福利費	(20,507)	(14,066)	6,441
福利厚生費	(351,335)	(352,957)	△ 1,622
会議費	(30,235)	(32,762)	△ 2,527
旅費交通費	(2,227,361)	(2,262,048)	△ 34,687
通信運搬費	(716,256)	(684,178)	32,078
消耗品費	(31,736)	(83,842)	△ 52,106
印刷製本費	(174,960)	(312,906)	△ 137,946
事務所賃料等	(1,837,462)	(1,990,583)	△ 153,121
光熱水料費	(124,450)	(122,629)	1,821
リース料	(230,444)	(230,444)	0
業務委託費	(2,217,872)	(3,104,271)	△ 886,399

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費	7,780,059	8,722,548	△ 942,489
役員報酬	(720,000)	(720,000)	0
給料手当	(1,470,080)	(1,399,680)	70,400
臨時雇賃金	(0)	(170,000)	△ 170,000
退職給付費用	(74,272)	(68,000)	6,272
法定福利費	(13,671)	(9,378)	4,293
福利厚生費	(234,224)	(235,304)	△ 1,080
会議費	(120,942)	(131,047)	△ 10,105
旅費交通費	(1,484,908)	(1,508,032)	△ 23,124
通信運搬費	(179,064)	(171,044)	8,020
消耗品費	(74,049)	(195,632)	△ 121,583
印刷製本費	(43,740)	(78,227)	△ 34,487
事務所賃料等	(1,224,974)	(1,327,056)	△ 102,082
光熱水料費	(124,450)	(122,629)	1,821
リース料	(98,761)	(98,761)	0
保険料	(25,520)	(45,520)	△ 20,000
租税公課	(274,750)	(70,000)	204,750
業務委託費	(1,478,582)	(2,069,514)	△ 590,932
雑費	(138,072)	(302,724)	△ 164,652
減価償却費	(0)	(0)	0
経常費用計	54,771,639	50,384,185	4,387,454
当期経常増減額	△ 3,751,319	△ 3,505,188	△ 246,131
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,751,319	△ 3,505,188	△ 246,131
一般正味財産期首残高	146,239,866	149,745,054	△ 3,505,188
一般正味財産期末残高	142,488,547	146,239,866	△ 3,751,319
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	142,488,547	146,239,866	△ 3,751,319

正味財産増減計算書（内訳表）  
2017（平29）年3月1日から2018（平30）年2月28日まで

1/2

（単位：円）

科 目	実施事業等会計	法人会計	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	0	420	420	1,483	△ 1,063
基本財産受取利息	(0)	(420)	(420)	(1,483)	△ 1,063
② 特定資産運用益	0	5,369	5,369	14,968	△ 9,599
特定資産受取利息	(0)	(5,369)	(5,369)	(14,968)	△ 9,599
③ 受取入会金	0	609,000	609,000	567,000	42,000
受取入会金	(0)	(609,000)	(609,000)	(567,000)	42,000
④ 受取会費	0	24,956,000	24,956,000	25,696,000	△ 740,000
正会員受取会費	(0)	(16,890,000)	(16,890,000)	(17,334,000)	△ 444,000
学生会員受取会費	(0)	(1,938,000)	(1,938,000)	(1,860,000)	78,000
団体会員受取会費	(0)	(2,040,000)	(2,040,000)	(2,160,000)	△ 120,000
欧文誌購読会員受取会費	(0)	(1,788,000)	(1,788,000)	(1,842,000)	△ 54,000
賛助会員受取会費	(0)	(2,300,000)	(2,300,000)	(2,500,000)	△ 200,000
⑤ 事業収益	23,830,249	0	23,830,249	19,586,362	4,243,887
印刷物収入	(11,495,371)	(0)	(11,495,371)	(11,481,548)	13,823
大会収入	(10,691,009)	(0)	(10,691,009)	(6,740,214)	3,950,795
広告料収入	(777,600)	(0)	(777,600)	(777,600)	0
支部大会収入	(866,269)	(0)	(866,269)	(587,000)	279,269
⑥ 受取補助金等	0	0	0	0	0
受取補助金	(0)	(0)	(0)	(0)	0
⑦ 受取助成金	0	0	0	0	0
受取助成金	(0)	(0)	(0)	(0)	0
⑧ 受取寄付金	111,820	0	111,820	100,278	11,542
受取寄付金	(111,820)	(0)	(111,820)	(100,278)	11,542
受取寄附金振替額	(0)	(0)	(0)	(0)	0
⑨ 受託収益	0	0	0	0	0
受託収益	(0)	(0)	(0)	(0)	0
⑩ 雑収入	0	1,507,462	1,507,462	912,906	594,556
受取利息	(0)	(4,726)	(4,726)	(270)	4,456
雑収益	(0)	(455,702)	(455,702)	(646,474)	△ 190,772
支部雑収入	(0)	(1,047,034)	(1,047,034)	(266,162)	780,872
経常収益計	23,942,069	27,078,251	51,020,320	46,878,997	4,141,323
(2) 経常費用					
① 事業費	46,991,580	0	46,991,580	41,661,637	5,329,943
年次大会開催費	(10,514,132)	(0)	(10,514,132)	(6,944,246)	3,569,886
会誌刊行費	(11,946,683)	(0)	(11,946,683)	(11,532,901)	413,782
欧文誌刊行費	(5,348,820)	(0)	(5,348,820)	(4,946,003)	402,817
各種委員会等運営費	(744,573)	(0)	(744,573)	(0)	744,573
国際交流費	(1,956,436)	(0)	(1,956,436)	(750,028)	1,206,408
事業関係通信運搬費	(68,152)	(0)	(68,152)	(256,964)	△ 188,812
事業関係雑費	(49,000)	(0)	(49,000)	(21,000)	28,000
事業関係業務委託費	(0)	(0)	(0)	(15,040)	△ 15,040
農学会等分担金	(266,850)	(0)	(266,850)	(269,800)	△ 2,950
HP管理費	(173,400)	(0)	(173,400)	(206,600)	△ 33,200
顕彰費	(740,000)	(0)	(740,000)	(770,000)	△ 30,000
女性・若手支援費	(845,780)	(0)	(845,780)	(715,460)	130,320
国際シンポジウム費	(0)	(0)	(0)	(675,000)	△ 675,000
国際土壤年事業費	(0)	(0)	(0)	(21,600)	△ 21,600
支部大会開催費	(2,378,608)	(0)	(2,378,608)	(1,294,789)	1,083,819
役員報酬	(1,680,000)	(0)	(1,680,000)	(1,680,000)	0
給料手当	(2,205,120)	(0)	(2,205,120)	(2,099,520)	105,600
臨時雇賃金	(0)	(0)	(0)	(170,000)	△ 170,000
退職給付費用	(111,408)	(0)	(111,408)	(102,000)	9,408
法定福利費	(20,507)	(0)	(20,507)	(14,066)	6,441
福利厚生費	(351,335)	(0)	(351,335)	(352,957)	△ 1,622
会議費	(30,235)	(0)	(30,235)	(32,762)	△ 2,527
旅費交通費	(2,227,361)	(0)	(2,227,361)	(2,262,048)	△ 34,687
通信運搬費	(716,256)	(0)	(716,256)	(684,178)	32,078
消耗品費	(31,736)	(0)	(31,736)	(83,842)	△ 52,106
印刷製本費	(174,960)	(0)	(174,960)	(312,906)	△ 137,946
事務所賃料等	(1,837,462)	(0)	(1,837,462)	(1,990,583)	△ 153,121
光熱水料費	(124,450)	(0)	(124,450)	(122,629)	1,821
リース料	(230,444)	(0)	(230,444)	(230,444)	0
業務委託費	(2,217,872)	(0)	(2,217,872)	(3,104,271)	△ 886,399

科 目	実施事業等会計	法人会計	当年度	前年度	増 減
② 管理費	0	7,780,059	7,780,059	8,722,548	△ 942,489
役員報酬	(0)	(720,000)	(720,000)	(720,000)	0
給料手当	(0)	(1,470,080)	(1,470,080)	(1,399,680)	70,400
臨時雇賃金	(0)	(0)	(0)	(170,000)	△ 170,000
退職給付費用	(0)	(74,272)	(74,272)	(68,000)	6,272
法定福利費	(0)	(13,671)	(13,671)	(9,378)	4,293
福利厚生費	(0)	(234,224)	(234,224)	(235,304)	△ 1,080
会議費	(0)	(120,942)	(120,942)	(131,047)	△ 10,105
旅費交通費	(0)	(1,484,908)	(1,484,908)	(1,508,032)	△ 23,124
通信運搬費	(0)	(179,064)	(179,064)	(171,044)	8,020
消耗品費	(0)	(74,049)	(74,049)	(195,632)	△ 121,583
印刷製本費	(0)	(43,740)	(43,740)	(78,227)	△ 34,487
事務所賃料等	(0)	(1,224,974)	(1,224,974)	(1,327,056)	△ 102,082
光熱水料費	(0)	(124,450)	(124,450)	(122,629)	1,821
リース料	(0)	(98,761)	(98,761)	(98,761)	0
保険料	(0)	(25,520)	(25,520)	(45,520)	△ 20,000
租税公課	(0)	(274,750)	(274,750)	(70,000)	204,750
業務委託費	(0)	(1,478,582)	(1,478,582)	(2,069,514)	△ 590,932
雑費	(0)	(138,072)	(138,072)	(302,724)	△ 164,652
減価償却費	(0)	(0)	(0)	(0)	0
經常費用計	46,991,580	7,780,059	54,771,639	50,384,185	4,387,454
当期經常増減額	△ 23,049,511	19,298,192	△ 3,751,319	△ 3,505,188	△ 246,131
2. 經常外増減の部					
(1) 經常外収益					
經常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 經常外費用					
經常外費用計	0	0	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 23,049,511	19,298,192	△ 3,751,319	△ 3,505,188	△ 246,131
一般正味財産期首残高	△ 14,412,197	160,652,063	146,239,866	149,745,054	△ 3,505,188
一般正味財産期末残高	△ 37,461,708	179,950,255	142,488,547	146,239,866	△ 3,751,319
II 指定正味財産増減の部					
① 受取補助金等					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 37,461,708	179,950,255	142,488,547	146,239,866	△ 3,751,319

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理

税込処理

2. 会計方針の変更

なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
国際シンポジウム準備積立金	6,170,000	0	0	6,170,000
女性・若手会員支援積立金	17,700,000	0	0	17,700,000
表彰事業積立金	2,000,000	0	0	2,000,000
退職給付引当預金	900,000	355,680	0	1,255,680
事務所維持等積立金	74,160,000	0	6,000,000	68,160,000
小 計	100,930,000	355,680	6,000,000	95,285,680
合 計	110,930,000	355,680	6,000,000	105,285,680

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	10,000,000	0
小 計	10,000,000	0	10,000,000	0
特定資産				
国際シンポジウム準備積立金	6,170,000	0	6,170,000	0
女性・若手会員支援積立金	17,700,000	0	17,700,000	0
表彰事業積立金	2,000,000	0	2,000,000	0
退職給付引当預金	1,255,680	0	0	1,255,680
事務所維持等積立金	68,160,000	0	68,160,000	0
小 計	95,285,680	0	94,030,000	1,255,680
合 計	105,285,680	0	104,030,000	1,255,680

5. 担保に供している資産

なし

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	2,371,040	0	2,371,040
合 計	2,371,040	0	2,371,040

7. 保証債務等の偶発債務

なし

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

10. 重要な後発事象

なし

附属明細書

2018年（平30）年2月28日 現在

1. 基本財産及び特定資産の明細

『財務諸表に対する注記』の通り

2. 引当金の明細

（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,070,000	185,680	0	0	1,255,680

【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【29 年度(2017/3/1 から 2018/2/28 までの概要】

1. 公益目的財産額	134,846,045円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額 ((1)+(2)-(3))	111,629,833円
(1)前事業年度末日の公益目的収支差額	88,580,322円
(2)当該事業年度の公益目的支出の額	46,991,580円
(3)当該事業年度の実施事業収入の額	23,942,069円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	23,216,212円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 注	
本部事務局諸経費の支出減により、公益目的支出の実績額が計画を下回ったため	

注:詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	(1)計画上の完了見込み	平成31年2月28日
	(2)(1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	134,846,045円	134,846,045円	134,846,045円	134,846,045円	134,846,045円
公益目的収支差額	115,892,000円	88,580,322円	113,346,340円	111,629,833円	138,112,358円
公益目的支出の額	43,436,400円	42,816,728円	48,264,518円	46,991,580円	48,264,518円
実施事業収入の額	20,258,000円	19,686,640円	23,498,500円	23,942,069円	23,498,500円
公益目的財産残額	18,954,045円	46,265,723円	21,499,705円	23,216,212円	0円

注:前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

2018年3月23日

## 監査報告書

一般社団法人 日本土壌肥料学会  
会長 犬伏 和之 殿

監事 深見元弘 

監事 上沢正志 

私たち監事は、2017年3月1日から2018年2月28日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

#### (3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は法令又は定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

## 第2号議案 2018年度事業計画および収支予算案

### I. 2018（平成30）年度事業計画

#### 1. 定期刊行物および資料の刊行

##### (1) 定期刊行物

日本土壤肥料学雑誌（第89巻第2号～第6号および第90巻第1号の計6冊、A4判）、Soil Science and Plant Nutrition（Vol.64, No.2～No.6, Vol.65, No.1の計6冊、A4判）および2018年度神奈川大会に際して日本土壤肥料学会講演要旨集（第64集、A4判）を刊行する。

##### (2) その他の刊行物

日本土壤肥料学会の編集により、Springer社からThe Soil of Japanを刊行する。

#### 2. 講演会および研究会等の開催、支援

##### (1) 「土と肥料」の講演会

2018年5月12日（土）、総会終了後に、東京大学弥生講堂において「土と肥料」の講演会を開催する。テーマを「食と農の将来を支える土と肥料の課題と展望～変動の時代における地力と資源循環の視点から～」とし、講演者と演題は金田吉弘氏「近年の大型機械化と多様な水稲栽培における水田土壌の課題と対応」および浅野智孝氏「地域資源を活用した混合堆肥複合肥料の開発経過と特性」である。なお、本講演会は日本学術会議の後援を得て実施する。

##### (2) 2018年度年次大会

2018年8月29日（水）～31日（金）、日本大学生物資源科学部（神奈川県藤沢市）において年次大会を開催する。同期間中、一般講演、ポスターセッション、シンポジウムは29日（水）から31日（金）、学会賞等授賞式、受賞記念講演、懇親会は30日（木）に行う。

シンポジウムのテーマについては、従来と同じく会員に公募し、これを基に部門長会議で検討して設定することとしている。

学会賞等授賞式では、第63回日本土壤肥料学会賞3名、第23回同技術賞2名、第36回同奨励賞2名、第7回同技術奨励賞3名に各賞を授与するとともに、受賞者の記念講演を行う。また、論文賞2件およびSSPN Award 1件の受賞者については、各賞を授与するとともに、受賞記念ポスターを展示する。

##### 第63回 日本土壤肥料学会賞受賞者

- ・石黒宗秀：土壌中における水・溶質移動と界面電気現象に関する研究
- ・信濃卓郎：作物生産向上のための根圏環境制御に関する植物栄養学的研究
- ・白戸康人：土壌炭素動態モデルを活用した農地土壌への炭素貯留の評価

##### 第23回 日本土壤肥料学会技術賞

- ・伊藤豊彰：有機性資源の新しい活用法等を基盤とする環境保全的肥培管理技術に関する研究
- ・清水 武：作物の養分ストレスに関する研究

##### 第36回 日本土壤肥料学会奨励賞受賞者

- ・大森良弘：フィールドにおけるイネの生育と元素蓄積に関する研究
- ・清水真理子：草地における炭素・窒素循環計測に基づく温室効果ガス排出に対する施肥管理の影響評価

#### 第7回日本土壌肥料学会技術奨励賞受賞者

- ・東 英男：安全・高品質米の安定生産に向けた窒素肥沃度管理とカドミウムリスク低減技術の開発
- ・鎌田 淳：集約的露地野菜及び米・麦二毛作地帯における施肥改善並びに農作物の安全性確保に関する研究
- ・松本武彦：大規模草地における乳牛ふん尿処理物の肥効評価に基づく環境保全的施肥法に関する研究

#### 日本土壌肥料学雑誌論文賞受賞者

- ・八木哲生、松本武彦、大友 量、小林創平、三枝俊哉、岡 紀邦：根釰地域の飼料用トウモロコシに対するアーバスキュラー菌根菌の効果を考慮したリン酸施肥基準
- ・松本成夫、織田健次郎、三輪睿太郎：わが国の食飼料供給に伴う1992年から2007年までの窒素フローの変遷

#### SSPN Award 受賞者

- ・Junta Yanai, Hiroshi Taniguchi and Atsushi Nakao : Evaluation of available silicon content and its determining factors of agricultural soils in Japan

### (3) 支部大会等

- ・北海道支部：第20回日本土壌肥料学会北海道支部野外巡検(時期・場所未定)および2018年度秋季支部大会・支部総会(11月29日、旭川市民文化会館)を主催する。また、第1回支部評議員会(6月上旬 北海道大学)、第2回支部評議員会(11月29日、秋季支部大会の昼休み時間)を開催する。
- ・東北支部：東北支部大会、支部役員会および支部総会を開催する(6~7月、青森県)。
- ・関東支部：関東支部新潟大会、支部幹事会および支部総会を開催する(12/1 朱鷺メッセ 新潟市)。
- ・中部支部：第79回支部総会、第98回支部例会を開催する(11月 静岡県 日程・場所調整中)。第162回支部評議員会(5月 愛知県 日程・場所調整中)、第163回支部評議員会(11月 静岡県 日程・場所調整中)を開催する。
- ・関西支部：関西支部講演会(12/6)および支部役員会(12/7)を開催する(島根県 日程は暫定案、会場は未定)。
- ・九州支部：九州支部例会、支部賞選考委員会、支部常議員会、支部総会を開催する(9/12~13 東海大学熊本キャンパス)。

### 3. 研究の奨励および研究業績の表彰

定款および細則に基づき、第64回日本土壌肥料学会賞、第24回同技術賞、第37回同奨励賞、第8回同技術奨励賞、第8回同貢献賞、日本土壌肥料学雑誌論文賞、SSPN Award など顕著な業績を挙げた者を表彰する。

#### 4. 内外の研究者、技術者、他学会等との連絡および協力

定期刊行物の国内外との交換、国内関連学会等と共催の研究討論会等を行い、学術交流・国際交流の強化を図る。

- ・日本農芸化学会 2018 年度大会（名城大学天白キャンパス）において、日本農芸化学会との共催シンポジウム「生物による無機元素の認識と反応の新展開」を開催する（3/16）。
- ・JST 俯瞰ワークショップ「フューチャーグリーン～持続可能な農林地利活用を目指して～(3/19)」に、講演者を派遣する。
- ・ヨーロッパ地球科学連合大会（EGU、オーストリア・ウィーン）に代表者を派遣する（4/8～13）。
- ・日本地球惑星連合 2018 年連合大会セッション（5/20～24）を共催する。
- ・IUSS Award Ceremony（ケニア・ナイロビ：未確定）に代表者を派遣する（6月）。
- ・ICSU: International Council for Science 総会（フランス・パリ）に代表者を派遣する（7/3～5）。
- ・第 55 回アイソトープ・放射線研究発表会（7/4～6）を協賛する。
- ・施設園芸・植物工場展 2018（GPEC 7/11～13）を協賛する。
- ・WCSS（ブラジル・リオ）に代表者および役員を派遣する（8/12～17）。
- ・第 17 回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦 2018 10/15～19）を後援する。
- ・第 2 回東アジアにおける窒素循環とその環境影響に関する国際会議（11/19～22）を共催する。
- ・米国土壌学会に代表者を派遣する（2019.1/6～9）。

#### 5. 本学会の委員会等活動

- ・企画委員会：総会終了後に開催する「土と肥料」の講演会を企画する。また、「国際土壌の 10 年」に関連した事業を企画する。
- ・土壌教育委員会：①神奈川大会において高校生ポスター発表会を実施する（8/30）。②自然観察の森に土壌断面の説明等が書かれた野外観察板を設置する（場所未定）。③教員研修およびその他の普及事業を行う（時期・場所 未定）。
- ・財政基盤整備委員会：引き続き支出の削減に努めるとともに、積極的に収入の拡大策を検討し、収支バランスの改善を図る。
- ・広報委員会：①学会ホームページのさらなる改善を図る。②フェイスブック、メールマガジン等による情報発信の活性化を図る。③土壌教育委員会とともにエコプロダクツ 2018 に出展する（2018.12）。

#### 6. その他、本学会の目的達成のための事業

- ・外部機関からの顕彰および研究助成の推薦依頼に対応する。
- ・規程に基づき、若手正会員及び学生会員の海外学会参加渡航費の一部を支援する。
- ・各理事担当の年間業務を整理し、円滑化を図る。

## II. 2018(平成30)年度収支予算案

### 一般正味財産増減の部

#### 1. 経常増減の部の経常収益

前年度予算額よりも188万円増の5,130万円を見込んでいる。主な増減は以下のように見込まれる。

##### (1) 前年度に比べて増加が見込まれる科目

- ⑤事業収益／大会収入は、協賛金等の雑収入が前年度予算額よりも92万円増の1,165万円。
- ⑧受取寄附金／受取寄附金振替額は、国際土壌10年活動寄附により100万円増の110万円。

##### (2) 前年度に比べて減少が見込まれる科目

- ④受取会費は前年度予算額よりも49万円減の2,469万円。正会員受取会費は20万円、欧文誌購読会員は21万円それぞれ減。

#### 2. 経常増減の部の経常費用

前年度予算額よりも257万円増の5,985万円を見込んでいる。主な増減は以下のように見込まれる。

##### (1) 前年度に比べて増加が見込まれる科目

- ①事業費／年次大会開催費は、前年度予算額よりも110万円増の1,165万円。
- 同／会誌刊行費／編集費は、査読システム初期費用等により378万円増の453万円。
- 同／事業関係業務委託費は、The Soil of Japanに係わる英訳、英文校閲により78万円増の80万円。
- 同／国際シンポジウム費は、東アジア窒素会議シンポジウムポスターセッション支援で29万円増。

##### (2) 前年度に比べて減少が見込まれる科目

- ①事業費／会誌刊行費／印刷製本費は204万円減。
- 同／欧文誌刊行費は22万円減。
- 同／国際土壌年事業費は31万円減。
- 同／支部大会開催費は20万円減。
- 旅費交通費は50万円減。
- 業務委託費は37万円減。

これらのことから、当期経常増減額は855万円の赤字が見込まれる。前年度経常増減額-786万円に比べて赤字が増えたのは、主に経常費用①事業費／会誌刊行費のうち、査読システム初期費用等および事業関係業務費によるものと考えられる。次年度以降に係る経費ではないものの、他の科目もいっそうの節制に努める必要がある。

一方、計画した事業の実施を円滑に推進するためには、寄附を募るなどの収益増を図る必要がある。会員各位のご理解、ご協力をお願いしたい。

**指定正味財産増減の部**

なし

以上の結果から、正味財産期末残高は855万円減の1億3,394万円が見込まれる。

(一社) 日本土壌肥料学会2018年度収支予算書(損益ベース) (案)

2018(平成30)年3月1日から2019(平成31)年2月28日まで

1/2

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	法人会計	予算額	前年度予算額	備考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	0	1,500	1,500	1,500	
基本財産受取利息	(0)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	
② 特定資産運用益	0	18,000	18,000	18,000	
特定資産受取利息	(0)	(18,000)	(18,000)	(18,000)	
③ 受取入金	0	510,000	510,000	510,000	
受取入金	(0)	(510,000)	(510,000)	(510,000)	3,000円×170人
④ 受取会費	0	24,690,000	24,690,000	25,180,000	
正会員受取会費	(0)	(16,800,000)	(16,800,000)	(17,000,000)	10,000円×1,680人
学生会員受取会費	(0)	(1,680,000)	(1,680,000)	(1,680,000)	6,000円×280人
団体会員受取会費	(0)	(2,020,000)	(2,020,000)	(2,100,000)	20,000円×101団体
欧文誌購読会費	(0)	(1,890,000)	(1,890,000)	(2,100,000)	6,000円×315人
賛助会員受取会費	(0)	(2,300,000)	(2,300,000)	(2,300,000)	50,000円×46口
⑤ 事業収益	24,755,000		24,755,000	23,388,500	
会誌刊行等事業収益	(11,610,000)		(11,610,000)	(11,420,000)	
会誌委託販売	(1,200,000)		(1,200,000)	(1,200,000)	
会誌投稿料・別刷り代等	(2,700,000)		(2,700,000)	(2,700,000)	89(2)~90(1)
会誌バックナンバー等	(10,000)		(10,000)	(10,000)	
欧文誌委託販売	(3,500,000)		(3,500,000)	(3,500,000)	Talor & Francis
欧文誌投稿料・別刷代等	(4,150,000)		(4,150,000)	(3,960,000)	64(2)~65(1)
欧文誌バックナンバー等	(0)		(0)	(0)	
講演要旨集(大会時外)	(0)		(0)	(0)	バックナンバー等
その他印刷物	(0)		(0)	(0)	
出版物印税	(50,000)		(50,000)	(50,000)	博友社印税
大会収入	(11,645,000)		(11,645,000)	(10,598,500)	神奈川大会運営委予算案に基づく
参加料	(3,370,000)		(3,370,000)	(3,275,000)	
発表料	(550,000)		(550,000)	(550,000)	
講演要旨集(大会時)	(2,600,000)		(2,600,000)	(2,600,000)	
懇親会費	(2,290,000)		(2,290,000)	(2,260,000)	
雑収入	(2,835,000)		(2,835,000)	(1,913,500)	協賛金等
広告料	(900,000)		(900,000)	(770,000)	
支部大会収入	(600,000)		(600,000)	(600,000)	
⑥ 受取補助金等	0	0	0	0	
受取補助金	(0)	(0)	(0)	(0)	
⑦ 受取助成金	0	0	0	0	
受取助成金	(0)	(0)	(0)	(0)	
⑧ 受取寄付金	1,110,000	0	1,110,000	110,000	
受取寄付金	(1,110,000)	(0)	(1,110,000)	(110,000)	SSPN Award副賞(Talor & Francis)、国際土壌10年活動寄附
受取寄附金振替額	(0)	(0)	(0)	(0)	
⑨ 受託収入	0	0	0	0	
受託金	(0)	(0)	(0)	(0)	
⑩ 雑収入	0	220,000	220,000	220,000	
受取利息	(0)	(20,000)	(20,000)	(20,000)	
雑収益	(0)	(200,000)	(200,000)	(200,000)	情報システム研究機構還元金、他
支部雑収入	(0)	(0)	(0)	(0)	
経常収益計	25,865,000	25,439,500	51,304,500	49,428,000	
(2) 経常費用					
① 事業費	51,213,304		51,213,304	48,264,518	
年次大会開催費	11,645,840		11,645,840	10,548,490	神奈川大会運営委予算案に基づく
会場費	(1,025,000)		(1,025,000)	(464,310)	日本大学規定に基づく
人件費	(765,000)		(765,000)	(720,000)	学生アルバイト
運営費	(190,000)		(190,000)	(590,000)	機材、運営諸費用
年次大会管理費	(3,873,960)		(3,873,960)	(2,501,928)	HP作成・運営、登録受付、演題要旨受付/後処理等
大会関係印刷費	(1,901,880)		(1,901,880)	(2,974,752)	講演要旨集
懇親会費	(2,850,000)		(2,850,000)	(2,700,000)	
その他雑費	(1,040,000)		(1,040,000)	(597,500)	会議費、託児所設置等
会誌刊行費	12,930,000		12,930,000	10,863,610	89(2)~90(1)
印刷製本費	(6,600,000)		(6,600,000)	(8,642,410)	
通信運搬費	(1,800,000)		(1,800,000)	(1,471,200)	
編集費	(4,530,000)		(4,530,000)	(750,000)	査読システム初期費用他
欧文誌刊行費	5,400,000		5,400,000	5,624,500	64(2)~65(1)
印刷製本費	(4,100,000)		(4,100,000)	(4,224,500)	
通信運搬費	(0)		(0)	(0)	
編集費	(1,300,000)		(1,300,000)	(1,400,000)	
各種委員会等運営費	1,572,280		1,572,280	1,652,280	
土壌教育委員会	1,120,000		1,120,000	1,100,000	土壌教育委員会活動
広報委員会	452,280		452,280	552,280	広報活動(エコプロ出展他)
その他	20,000		20,000	0	男女共同参画学協会会費、資料代等
支部交付金	0		0	0	
学術交流費	40,000		40,000	50,000	土と肥料の講演会 他
国際交流費	2,730,000		2,730,000	2,570,000	WCSS派遣、IUSS対応等
事業関係通信運搬費	100,000		100,000	150,000	
事業関係雑費	35,000		35,000	35,000	神奈川大会シンポジウム非会員演者懇親会参加費
事業関係業務委託費	800,000		800,000	20,000	The Soil of Japanに係る英訳および英文校閲
農学会等分担金等	270,000		270,000	270,000	日本農学会分担金、日本学術協力財団
HP管理費	156,600		156,600	156,600	HP更新、メルマガ運用
顕彰費	800,000		800,000	740,000	学会賞、技術賞、技術貢献賞 他

次頁に続く

科 目	実施事業等会計	法人会計	予算額	前年度予算額	備考
女性・若手支援費	1,020,000		1,020,000	1,040,000	奨励賞、渡航支援、若手の会補助 他
国際シンポジウム費	290,000		290,000	0	東アジア窒素会議のシンポジウムポスターセッション開催支援
国際土壌年事業費	10,000		10,000	320,000	
支部大会開催費	1,300,000		1,300,000	1,500,000	
役員報酬	1,680,000		1,680,000	1,680,000	
給料	2,340,000		2,340,000	2,340,000	
法定福利費	54,000		54,000	54,000	
福利厚生費	360,000		360,000	360,000	
臨時雇い賃金	0		0	0	
会議費	25,600		25,600	22,000	
旅費・交通費	2,100,000		2,100,000	2,400,000	
通信運搬費	640,000		640,000	720,000	
什器備品費	15,000		15,000	15,000	
消耗品費	90,000		90,000	90,000	
印刷製本費	320,000		320,000	320,000	
事務所賃料等	1,872,000		1,872,000	1,872,000	
光熱水料費	125,000		125,000	125,000	
リース料	280,000		280,000	280,000	
業務委託費	2,100,000		2,100,000	2,322,000	
退職給付費用	111,984		111,984	124,038	
② 管理費		8,641,056	8,641,056	9,022,692	
役員報酬		720,000	720,000	720,000	
給料		1,560,000	1,560,000	1,560,000	
法定福利費		36,000	36,000	36,000	労働保険
福利厚生費		240,000	240,000	240,000	健保
臨時雇い賃金		0	0	0	
会議費		102,400	102,400	88,000	
総会		(54,400)	54,400	(48,000)	
理事会		(8,000)	8,000	(8,000)	
部門長会		(4,000)	4,000	(4,000)	
選考委員会		(4,000)	4,000	(4,000)	
選挙管理委員会		(8,000)	8,000	(0)	
その他会議費		(24,000)	24,000	(24,000)	
旅費・交通費		1,400,000	1,400,000	1,600,000	
通信運搬費		160,000	160,000	180,000	
什器備品費		35,000	35,000	35,000	
消耗品費		210,000	210,000	210,000	
印刷製本費		80,000	80,000	80,000	総会資料等
事務所賃料等		1,248,000	1,248,000	1,248,000	家賃等12ヶ月分
光熱水料費		125,000	125,000	125,000	
リース料		120,000	120,000	120,000	PC、FAX等
保険料		30,000	30,000	50,000	
租税公課		1,000,000	1,000,000	1,000,000	消費税、法人税、他
業務委託費		1,400,000	1,400,000	1,548,000	会員管理、会計業務
雑費		100,000	100,000	100,000	
退職給付費用		74,656	74,656	82,692	
経常費用計	51,213,304	8,641,056	59,854,360	57,287,210	
当期経常増減額	△ 25,348,304	16,798,444	△ 8,549,860	△ 7,859,210	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
① 雑収益	0	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用					
① 雑損失	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 25,348,304	16,798,444	△ 8,549,860	△ 7,859,210	
一般正味財産期首残高	△ 37,461,708	179,950,255	142,488,547	146,239,866	
一般正味財産期末残高	△ 62,810,012	196,748,699	133,938,687	138,380,656	
II 指定正味財産増減の部					
① 受取補助金等					
助成金収入					
受取寄付金					
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	△ 62,810,012	196,748,699	133,938,687	138,380,656	

### 第3号議案 会費等の改定

現行の入会金及び会費は、1994（平成6）年度に改定、1995（平成7）年度から実施され、これまで20年以上にわたり据え置かれてきた。

この間、会員数の減少による会費等収入の減少が止まらず、会員管理、会誌刊行、欧文誌出版、会計事務所等の業務委託先の変更による委託経費の節減、人員削減による事務局経費の節減等、様々な方策を講ずるも大幅な赤字が続いている（図1、図2参照）。1989（平成1）年に消費税（3%）が導入され、その後5%、8%と引き上げられたが、当会では会費値上げを実施せずに来た。しかし2019（平成31）年10月1日より10%となることが決定しており、消費税の負担分も膨大なものとなり、このまま経常収支の赤字が継続すれば、学会の活動が困難となる恐れがある。

理事会では、今後の財政の見通し、本会の事業を円滑に遂行するための財政上健全性の維持、社会的妥当性などを考慮しながら検討した結果、会員サービスの向上と事業費収支の健全化への取組を継続しつつも、会費の一定引き上げはやむを得ないと判断した。

そこで、年額2,000円値上げを主体とする会費の改定に係る下記の案を提出する。なお、本案は2019（平成31）年度から実施するものとする。

現行	改定後
(会費) (1)正会員 年額 10,000円 (2)賛助会費 年1口以上(1口50,000円) (3)学生会員 年額 6,000円 (4)国内団体購読会員 年額 20,000円	(会費) (1)正会員 年額 <u>12,000円</u> (2)賛助会員 年1口以上(1口50,000円) (3)学生会員 年額 <u>8,000円</u> (4)国内団体購読会員 年額 20,000円
(会費の免除) 正会員のうち、3月1日現在、年齢満73歳に達した者は、会費免除の申請をすることができる。理事会で確認のうえ、当該年度以降の会費の納入を免ずる。	(会費の免除) 正会員のうち、3月1日現在、年齢満 <u>75</u> 歳に達した者は、会費免除の申請をすることができる。理事会で確認のうえ、当該年度以降の会費の納入を免ずる。

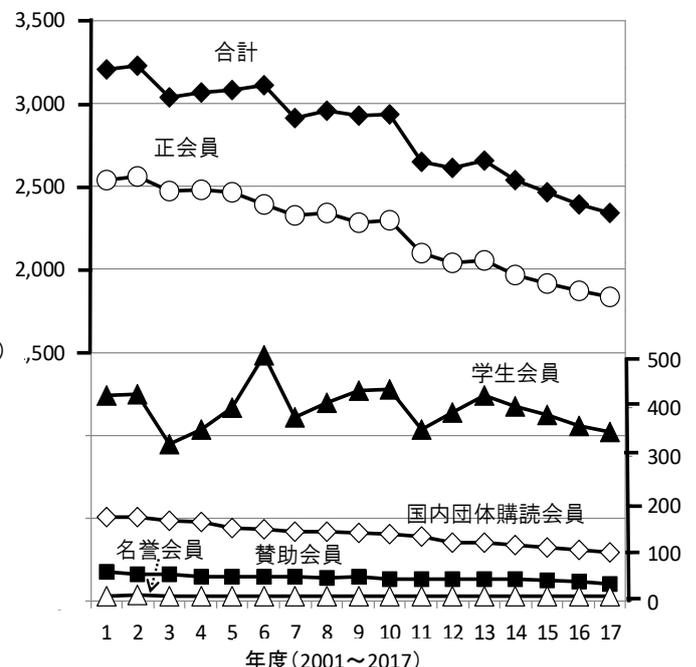
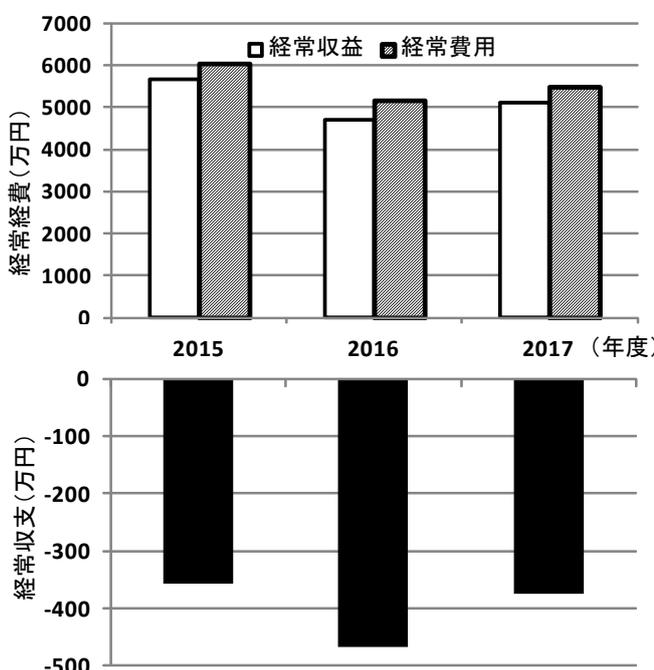


図1 直近3カ年における経常経費(上段)及び経常収支(下段)の推移

図2 会員数(人または団体)の推移

## 参考

# 2018 年度役員、代議員等一覧

## 役員（20 名）

会長	犬伏和之
副会長	波多野隆介・木村 武
常務理事（常勤）	原田靖生
常務理事	安西徹郎
会計担当理事	渡邊浩一郎・相崎万裕美
会誌担当理事	須藤重人・竹本 稔
欧文誌担当理事	國頭 恭・青野俊裕
渉外担当理事	矢内純太・大塚重人・松浦里江
部門長会議担当理事	木村秀也
広報担当理事	高田裕介・高野順平
教育担当理事	菅野均志
監事	上沢正志・深見元弘

## 代議員（100 名）

### （北海道支部 定員 10 名）

岡 紀邦、加藤 淳、澤本卓治、志賀弘行、谷 昌幸、長尾明宣、中津智史、中辻敏朗  
日笠裕治、渡部敏裕

### （東北支部 定員 11 名）

伊藤豊彰、金田吉弘、齋藤雅典、佐藤 孝、信濃卓郎、俵谷圭太郎、高橋 正、中川進平  
南條正巳、西田瑞彦、藤井弘志

### （関東支部 定員 41 名）

秋山博子、阿部 薫、荒尾知人、在原克之、江口定夫、太田寛行、大谷 卓、大山卓爾、加藤直人  
加藤英孝、金澤健二、金子文宜、鎌田 淳、上山紀代美、唐澤敏彦、川崎 晃、川東正幸  
久保寺秀夫、小崎 隆、後藤逸男、坂本一憲、新町文絵、隅田裕明、妹尾啓史、高橋令二  
田村憲司、豊田剛己、長坂克彦、野口 章、橋本知義、長谷川功、原田久富美、樋口恭子  
平舘俊太郎、藤田 裕、藤原俊六郎、藤原 徹、八木一行、山口紀子、横山 正、吉川省子

### （中部支部 定員 11 名）

浅川 晋、磯井俊行、糟谷真宏、小山博之、鮫島玲子、水野隆文、棚橋寿彦、堂本晶子、一家崇志  
村瀬 潤、渡邊 彰

### （関西支部 定員 17 名）

岩崎貢三、上野秀人、内山知二、遠藤常嘉、櫻井克年、実岡寛文、真常仁志、中尾 淳、野村美加  
藤間 充、舟川晋也、前田守弘、馬 建鋒、増永二之、望月秀俊、横山和平、渡辺和彦

### （九州支部 定員 10 名）

赤木 功、荒川祐介、古賀伸久、佐伯雄一、境 雅夫、染谷 孝、樗木直也、宮丸直子、山川武夫  
和田信一郎

## 部門長

（第 1 部門）江口定夫	（第 2 部門）高橋 正	（第 3 部門）豊田剛己
（第 4 部門）馬 建鋒	（第 5 部門）舟川晋也	（第 6 部門）矢内純太
（第 7 部門）西田瑞彦	（第 8 部門）前田守弘	（第 9 部門）福田 直

## 支部長

北海道	波多野隆介	東北	高橋 正	関東	横山 正
中部	浅川 晋	関西	増永二之	九州	佐伯雄一

## 会誌編集委員会

委員長 鳥山和伸

常任編集委員 宮丸直子、駒田充生、佐々木由佳、笛木伸彦、井原啓貴、馬場光久  
藤田 裕、小林 孝行、小八重善裕、中尾 淳、白鳥 豊、浅木 直美

地域担当編集委員

北海道	谷 昌幸、長尾明宣、中村卓司	東北	金田吉弘、中川進平、山本岳彦
関東	大脇良成、八島未和、山田和義	中部	小川直人、福島 務、福島朋行
関西	大家理哉、牧 浩之、増永二之	九州	荒川祐介、長友 誠、佐伯雄一

## 欧文誌編集委員会

委員長 妹尾啓史

副編集委員長 波多野隆介、森田明雄、小山博之

国内編集委員 小林政広、吉田修一郎、橋本洋平、柳由貴子、高橋 正、眞家永光

青野俊裕、齋藤明広、池永 誠、杉原 創、豊田剛己、西澤智康、小八重善裕、馬 建鋒  
丸山明子、鈴木雄二、小林高範、山地直樹、中西啓仁、渡部敏裕、渡邊哲弘、今矢明宏  
新良力也、松本真悟、唐澤敏彦、西田瑞彦、加藤雅彦、中辻敏朗、浦川梨恵子、古賀伸久  
南川和則、武田 晃、前田守弘、高階史章、藤間 充

海外編集委員 Reiner Wassmann、Randy A. Dahlgren、Xiaoyuan Yan、Jae E. Yang

Zucong Cai、Ping He、Yong-Guan Zhu、Sanjib Kumar Panda、Miftahudin

Jerzy Lipiec、Audthasit Wongmaneroj、Bentio Heru Purwanto、Georg Guggenberger

## 土壌教育委員会

委員長 隅田裕明

副委員長 田村憲司

事務局長 藤間 充

委員 村野宏達、木村 武、三枝俊哉、早川 敦、森 圭子、小川直人、豊田 鮎  
浅野陽樹

顧問 福田 直、平井英明

## 2018年度年次大会（神奈川）運営委員会

運営委員長：隅田裕明

事務局長：野口 章

会計：高橋令二

顧問：長谷川功

運営委員：在原克之、磯部勝孝、伊藤紘子、井上 弦、加藤 拓、加藤雅彦、上山紀代美  
川東正幸、鍛代邦夫、小林孝行、新町文絵、砂入道夫、武田 甲、竹本 稔、中川達功  
中村進一、樋口恭子、肥後昌男、前田良之、山崎 聡